

CAMPAIGN

Korean Dream 10Million Campaign

「自由で統一されたコリア」のためのサポート キャンペーン（オンライン署名）にご協力ください！

簡単な署名で
サポート！



コリアン・ドリームは、自由、人権、共栄という原則に基づき、平和で統一された朝鮮半島を構想しています。隣国の平和的統一は、日本にとっても安全保障上の脅威の除去、経済発展の起爆剤、さらには拉致被害者・北朝鮮帰国事業被害者の解放に直結するものです。

「コリアン・ドリーム1000万人キャンペーン」は、全世界で1000万人の支持者を結集させ、朝鮮半島の平和と統一を求める世界的な声を上げることを目標にしています。希望の未来を築くために、この世界的ムーブメントに参加してください。あなたのご支援が朝鮮半島の平和を現実のものにします。



EVENT

「変わる朝鮮半島！」

在日コリアンは“架け橋”になり得るか？ （第13回ピース・デザイン・フォーラム）



6月22日（日）、渋谷区で東アジア総合研究所 理事長の姜英之（カン・ヨンジ）先生を基調講演者に迎え、朝鮮半島情勢や在日コリアンにフォーカスしたフォーラムを開催しました。以下、講演の要点をまとめてお伝えします。

■ 李在明新政権の発足と今後の日韓関係、南北関係

李在明新大統領が誕生し、日本では色々と心配する声があることは承知している。マスコミ報道だけを見れば心配するのも無理はないが、より正確に捉える必要がある。長年研究してきた、北朝鮮や韓国の状況について、マスコミ報道には相当な違和感がある。これでは日本の皆さんが朝鮮半島情勢を正確に理解するには無理がある。

以前、文在寅大統領は思想的にも中国と北朝鮮に肩入れし過ぎたが、李在明氏は思想家ではなく、どちらかと言えばポピュリスト的な側面が強い。文在寅政権の時のようにはならないだろう。

日韓関係についても、李在明氏は日本に対して「敵性国家である」というような過激な発言があったものの、支持を受けるための発言で、本音としては石破総理との関係の中で、うまくやろうとしていると予想している。

一方の石破総理は歴代総理の中では朝鮮半島問題に前向きであるため、中期的な展望としては良好な日韓関係が保たれるだろう。

2024年12月に金正恩氏は南北関係を「敵対的二国関係」だと宣



言したが、これは一時的なもの。李在明政権になって韓国側からの拡声器放送を停止したところ、北朝鮮側も雑音放送を停止したのは腑に落ちる。北朝鮮は軍事的な激化を避けたいと考えている。現在は韓米の軍事演習を警戒し、戦争まで想定した体制に入っているのだが、情勢が変われば南との対話に乗り出してくるだろう。

■ 在日コリアンは“架け橋”になり得るか？

在日は架け橋になれるし、なるべきだと思っているが、そのためには韓国と北朝鮮の出先機関ではなく、堂々と物を言う「主体」になっていかなければならない。日本に根を下ろし、韓国系日本人として架け橋の役割を果たすべきだ。そうすれば、統一された朝鮮半島と日本の架け橋となり、日本・コリア連合という大きな枠組みの中で役割を果たして行くことができるだろうと思う。

■ 北朝鮮の人権問題は李在明政権の試金石

多くの日本人が好きだった尹錫悦大統領は、普遍的な人権を北朝鮮に適用した。それは良いが、接近方法は疑問だ。反共に徹する政治的アプローチが強く、南北関係には悪影響だった。これを李在明政権はどうするのかは、一つの試金石だと言える。国民の暮らしの改善を掲げて当選した大統領が、北朝鮮住民の暮らしや人権にも眼を向けるのか否か。もしも蓋をして見ないようにするのであれば、やはりダメな政権だと評価されるだろう。人権問題を無視せず、南北関係改善を図るという、難しい宿題が与えられている。



NOTICE

“北朝鮮で生きる”とは？

- 講師：川崎栄子（AKU Japan代表理事, KOA会長）
- 聴き手：後藤亜也（GPF Japan代表理事）
- 日時：2025年7月12日（土）
14:00～17:00（13:30開場）
- 会場：TIME SHARING渋谷神南2A
- 参加費：1000円（学生無料）
- 定員：20名（事前申し込み制）



▲申し込みフォーム

第14回ピース・デザイン・フォーラム

“北朝鮮で生きる”とは？

脱北者・川崎栄子 × 後藤亜也 インタビューライブ

7/12 土

13:30 開場

14:00 ~ 17:00

会場：TIME SHARING渋谷神南2A

参加費：1000円 20名

（学生無料）（事前申し込み制）

講師：川崎栄子

聴き手：後藤亜也

脱北者・AKU Japan代表理事 / NGOモドゥモイジャ会長

グローバル・ピース・ファウンデーション・ジャパン代表理事

「東アジア共同体」構想と在日コリアンの役割

イデオロギーや国家意識による葛藤を超え、より大きな共同体意識へ

今回は6月22日（日）に開催された第13回ピース・デザイン・フォーラム「変わる朝鮮半島！」～在日コリアンは“架け橋”になり得るか？～から、特に「在日コリアン」に関する内容を要約してお伝えします。

両親が「在日コリアン」になった理由と幼き日の家族

両親が日本にやってきた理由といえば「強制連行」という話になりがちだが、私の両親は強制連行ではなく全羅南道の田舎から渡ってきた。2,3人の小作人を雇っていた小地主の息子だったが、勉強目的とお金を稼ぐために1941年に渡ってきて大阪に住み、行商をやりながら生活し、8人の子供を授かった。私は6番目で、日本の学校に通ったが差別を受けた。小学校6年の時に、父親が交通事故で亡くなり、当時40歳の母が、高校2年から生まれたばかりの1歳児まで、8人の子供を一人で育てた。マッコリ屋・ホルモン料理の小料理屋を経営し、全員の面倒を見た。



自らのアイデンティティに悩んだ少年～青年時代

在日として、自分のアイデンティティについてはものすごく悩んだ。日本人、韓国人、どちらでもない。差別を受け、母親を憎む気持ちもあったし、貧乏だったから、少年時代、青年時代は困った。そんな中、どっちつかずの「境界人」という考えから抜け出すきっかけがあった。中国の延辺で開かれた学術会議に出席した際、世界の至る所で逞しく生きるコリアンたちに触れ、「在日コリアン」というどこか悲劇的な被害者意識を捨てて「在日アジア人」という意識に変わり、「主体」を取り戻せた。

他の在日外国人と異なる、在日コリアンの複雑さ

在日コリアンは日韓併合時代には日本国籍を持っていたが、1947年、国籍法ができて急に外国人として扱われ始め、1952年にはサンフランシスコ平和条約によって正式に無国籍になった。1965年の日韓基本条約締結以降は韓国籍を取得したり、朝鮮籍（国籍不明扱い）のままだったり、複雑な経緯がある。自分の意思とは関係なく国籍が変わってきた。さらに半島が南北に分断されたことで、在日社会も民団と総連に分断され、より複雑になっている。（※年号や条約名などは事務局が補足）

民団と総連が一つになることの難しさ

朝鮮戦争を通して完全に南北が敵対関係になってしまったことが大きい。韓国社会内部でもその分断が深まり、日本では民団、総連が本国に追随する性格があり、イデオロギー的に対立する文化が在日に行き渡ってしまった。そのような文化が50年代から60年代へと続いた。それは組織内だけでなく、当時はすべての在日コリアンがそうだった。

民団と総連の相剋を乗り越える挑戦と、挫折

そのような民団と総連の対立を若い時から見てきた。私は研究所を運営するにあたって民間社会の基盤が必要だったので、民団に所属。2006年ごろの話だが、当時、団長に選出された方が「在日は理念的には一線を画しても、民族教育では手を取り合うことが必要だ」という主張を持っていた。私は同調し、積極的に協力した。団長の一声で私が総連との交渉を担った。話が進むにつれ、うまく行くかと思った矢先にある問題が持ち上がり、難しくなった。

実はその団長が朝鮮大学出身であることを隠しており、裏で総連と結びついていたのだ。いまだ全容が解明されていないのだが、時期尚早だったとも言えるし、北朝鮮と韓国、双方の政治的な動きに翻弄され、それを見抜けなかったのを反省している。

3世・4世の世代になり、変わりつつある「在日コリアン」

ただ現在、在日3世4世の世代はイデオロギー的な対立はないと言って良い。民族意識も薄れてきているので、民団・総連といった民族団体の存在意義を知らないとか、見限っているという若い人が多いように思う。ルーツを学ぶ気持ちも希薄になっている。私の息子は仕事で韓国との関係もあるので、少しは民族意識があるが一般的には希薄になっている。子どもが日本国籍をとることへの抵抗感も弱くなってきているが、私の場合には条件として、「韓国名で登録すること」と「ルーツを忘れないでほしい」とは言っている。

組織同士より、在日同士の自然な人間関係構築を



民団と総連が組織同士で仲良くなるのはすごく難しいと思う。敢えてしなくても良いと思う。それよりも地方や末端組織では団体の縛りが少ないので、そのような地域で人間関係の繋がりが広がるのが自然ではないか。

近代国家概念を超えた「東アジア共同体」構想

日韓関係悪化の原因を突き詰めていくと、西洋から入ってきた「近代国家概念」「近代国家主義」が邪魔をしている。約6000年前は、日本、朝鮮半島、中国の東北部までの一帯には文化的な相互交流があり、共鳴しながら発展してきた。そこには国家の壁はなく、自由に行き来する共同体だった。私はそれが母体だと思う。東アジアでは国家の違いを超えて交わることがより大切ではないか。

南北統一より先に、「日韓国連合」ができていいのではないか、と思っている。国家の壁をなくす、自由経済、関税の撤廃など。相互で結婚も大いに奨励する。そうすると在日コリアンは自然と先駆者になれる。「統一コリア・ジャパン連合」ができれば、中国の覇権主義に対抗できる、歴史的意義があるのではないか、と思って生きている。



NOTICE 多文化おもてなしフェスティバル2025 Multicultural One family Festival

GPF Japanでは年に一回、違いを超えたワンファミリーの文化を発信するイベントとして「多文化おもてなしフェスティバル」を開催しています。今年は11月16日（日）に開催予定です！（会場は昨年同様、日本橋浜町イベントホール“プラザマーム”）どなたでも楽しく参加できる世界の食、音楽、ファッションなどが味わえるイベントです。8月にはミニイベントも企画しますので、情報をお見逃しなく！現在、多国籍からなる実行委員会メンバーが、月に一回、



ワイワイとミーティングしながら準備を進めています。出演者、出店者もまだまだ募集していますので、希望される方は、ぜひ私たちの仲間に加わってください！ご連絡は下記、東京事務局までお待ちしています！（担当：飯田）

一般社団法人 グローバル・ピース・ファウンデーション・ジャパン

東京事務局

住所 〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7番7号 O・Hビル401号室

TEL 03-6416-5435 FAX 03-6416-5436

E-mail japan@globalpeace.org

仙台オフィス

住所 〒980-0011

仙台市青葉区上杉1丁目12-20-207

TEL 090-8546-7806